

1 学年及び単元名 第5学年 「帯グラフと円グラフ」

2 問題

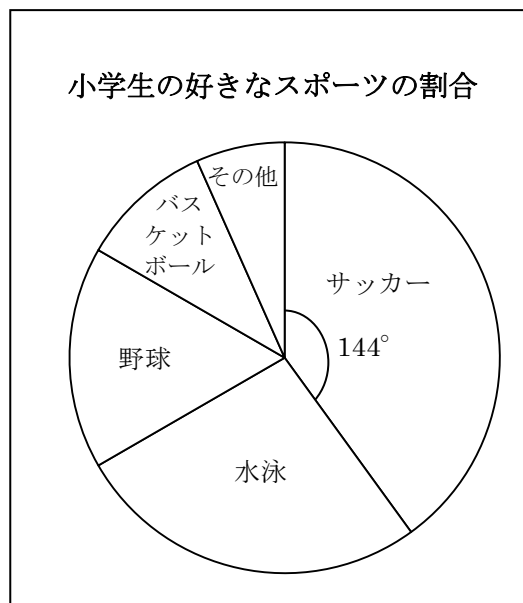
小学生に一番好きなスポーツについてアンケートをとり、結果を右のような円グラフに表しました。

(1) 次の式は何を求めた式ですか。

$$144 \div 360 \times 100$$

(2) サッカーと答えた小学生は240人でした。

アンケートに答えた小学生は全部で何人ですか。



3 ねらい及び活用のポイント

- ・ 「帯グラフと円グラフ」を学習した後に発展問題として扱う。
- ・ (1)の問題は、「円グラフの中心角から割合を求める式」を読むことをねらいとしている。普段児童は、割合や目盛が示された円グラフを目にすることが多い。中心角が分かれば割合が求められることに気付かせ、児童の円グラフの見方を広げたい。
- ・ (2)の問題は、比較量(サッカーと答えた小学生の人数)と割合(40%)から基準量(アンケートに答えた小学生の人数)を考えさせることをねらいとしている。

4 考え方

(1) サッカーと答えた小学生の割合

- ・ 円グラフでは、「中心角 $\div 360^\circ$ ($\times 100$)」で割合を求めることができる。
- ・ 「□%の中心角は何度か」という問題も考えることができる。

(2) アンケートに答えた小学生を□人とする。

(1)の式を計算するとサッカーと答えた小学生の割合は40%になるので、

$$\square \times 0.4 = 240$$

$$\square = 240 \div 0.4$$

$$\square = 600$$

A. 600人

問 題

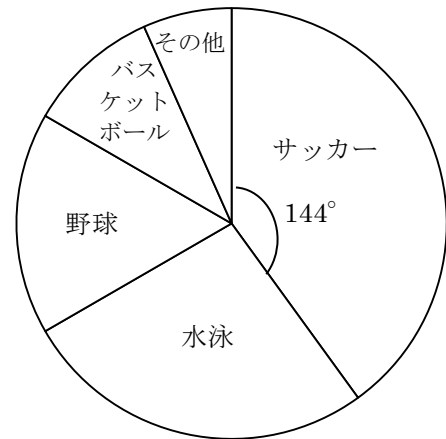
帯グラフと円グラフ

小学生に一番好きなスポーツについてアンケートをとり、結果を右のような円グラフに表しました。

(1) 次の式は何を求めた式ですか。

$$144 \div 360 \times 100$$

小学生の好きなスポーツの割合



(2) サッカーと答えた小学生は240人でした。

アンケートに答えた小学生は全部で何人ですか。